

イチゴ「ゆうやけベリー」における基肥窒素量は 13kg/10a で十分である

福島県農業総合センター 作物園芸部 野菜科

1 部門名

野菜－イチゴ－施肥法

2 担当者名

横田祐未、柳内柚香、成田元樹

3 要旨

本県育成イチゴ品種「ゆうやけベリー」の土耕栽培について、適正な基肥窒素量は明らかにされていない。そこで、基肥窒素量が時期別及び規格別収量等に及ぼす影響を調査した結果、基肥窒素量は13kg/10a で十分と考えられた。

- (1) 基肥窒素量にかかわらず時期別可販果収量は同等であった (図1)。
- (2) 基肥窒素量にかかわらず規格別可販果収量は同等であり、3L規格の割合が高かった (図2)。
- (3) 基肥窒素量にかかわらず乱形果率は同等であった (データ省略)。

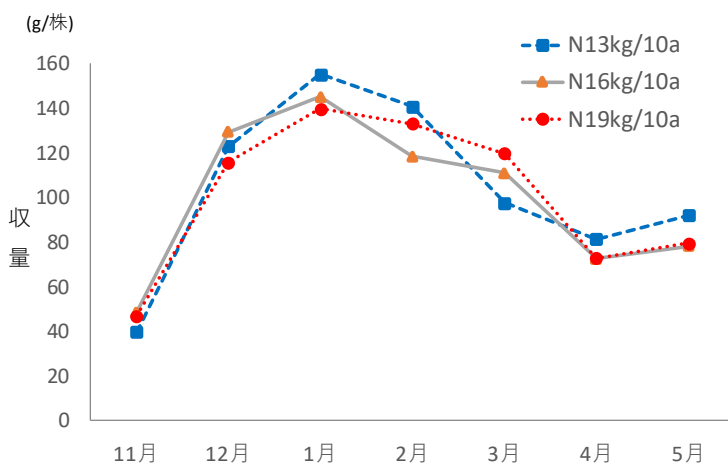


図1 基肥窒素量と時期別可販果収量(g/株)

- * 2022年9月14日に定植し、栽植様式は株間25cm、畝幅70cmとした。
- * 基肥はエコロングトータル391-100等を使用し、N:P:K=(13、16、19):20:16kg/10aとした。
- * 追肥は2022年12月16日～2023年5月17日にかけて、窒素量1.2kg/10aを分施した。

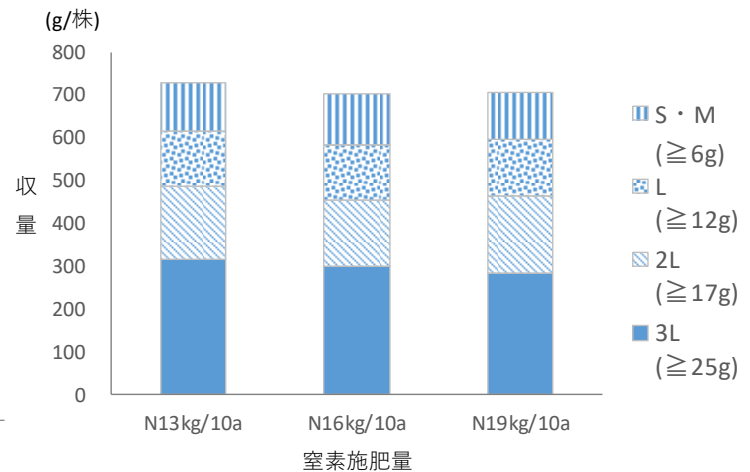


図2 基肥窒素量と規格別可販果収量(g/株)

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 個性豊かな県オリジナル野菜・花き品種の育成〔福島県産農産物競争力強化事業(研究)〕

5 主な参考文献・資料

- (1) なし